

第3回検討部会における意見等への対応について（適応策）

No.	質疑内容	対応	資料
1	<p>【トレードオフの視点】 <u>対策には、コベネフィットになるものもあるが、トレードオフも起こることを考えなくてはならない。</u>例えば、緑化を進めると熱中症防止や自然生態系を育むことにつながり、緩和策にも多少なるかと思うが、一方で蚊の増加や樹種によっては花粉・胞子の飛散によりアレルギー疾患が増加する可能性もある。<u>その辺りも考慮の上で最適な対策を見つけていく必要があるということを入れると良い。</u></p>	<p>「3. 適応に関する基本的な考え方」の中にトレードオフとコベネフィット（シナジー）に関するコラムを作成し、考え方を示す。</p>	<p>資料5 P. 17</p>
2	<p>【第2次影響評価報告書に関する記載】 <u>平成27年3月の国の意見具申を掲載しているが、先日第2次影響評価報告書が出ている。新しい報告書の中身を今から吟味するのは時間的に難しいかもしれないが、第2次報告書の存在について表記しておくことも必要ではないか。</u></p>	<p>第2次影響評価報告書に関する文章を追加する。</p>	<p>資料5 P. 26</p>
3	<p>【教育施設における空調の設置】 <u>暑さ対策について、通常は教育施設等における空調の整備の推進等が入るが、千代田区は教育施設等の教室や体育館に空調がほぼ設置されているという認識で良いか。</u></p>	<p>区立学校は体育館も含めて空調が設置されている。</p>	<p>—</p>
4	<p>【暑さによる機会損失】 <u>生活分野における暑さの問題で一番大きいのは機会損失だと考える。夏場のイベントや祭り、千代田区では皇居周辺のマラソンも暑さによる影響を非常に受けると懸念している。そのようなことへの対策も魅力づくりにつながる。背景としてそのようなことが想定されることを盛り込むと良い。</u></p>	<p>生活分野における現況や将来予測される影響として、屋外活動の制限等による機会損失に関する記述を追加する。</p>	<p>資料5 P. 25, 28, 35</p>
5	<p>【基本方針2の説明文】 <u>「4.2.2 基本方針2」の説明があるが、一つ目の文章に主語がないため、直してほしい。</u></p>	<p>文章を訂正する。</p>	<p>資料5 P. 35</p>
6	<p>【国土強靱化地域計画との整合】 <u>国土強靱化地域計画と気候変動適応計画は重複する部分かなりあると思われる。区の中で整合を図っておくと効率的になるため、見ておいた方が良い。</u></p>	<p>国土強靱化地域計画の策定にあたっては内容の整合を図る。</p>	<p>—</p>
7	<p>【民間企業の気候変動適応ガイド】 <u>環境省が2019年3月に「民間企業の気候変動適応ガイド」を出したが、今年度末に改訂版に向けての検討が始まると聞いている。特にBCMの既存の取組みと気候変動への適応を連携させて進めるといった部分やTCFDの提言の枠組みを踏まえた改訂版に向けて議論を開始するという情報提供である。</u></p>	<p>民間企業の気候変動適応ガイドを産業・経済活動向けの取組みに活用していく。</p>	<p>—</p>
8	<p>【進捗管理】 <u>「5.3 進捗管理」の指標について、文章にはアウトプット指標やアウトカム指標の記述があるが、表にはない。合わせた方がわかりやすい。</u></p>	<p>表5-1に「アウトプット指標」及び「アウトカム指標」の文言を追加する。</p>	<p>資料5 P. 40</p>

No.	質疑内容	対応	資料
9	<p>【各主体の役割】 <u>「4.2 各分野の主な対策」は対策のメニューで軸を作っており、「5.3 各主体の役割」は主体で軸を作っているため、建付けが異なりわかりづらい。推進計画のように取組みのメニューに対して区・事業者・区民がやることに「○」を付けた方がわかりやすい。</u></p>	<p>「4.2 各分野の主な対策」の対策ごとに主体・対象を明記する。加えて、「5.3 各主体の役割」に区の対策と対応する区民・事業者の取組みを記載する。</p>	<p>資料5 P. 31-38 P. 42-47</p>
10	<p>【各主体の役割】 <u>区のところは関係機関や部署との連携というキーワードもあるため、どこが主体となってどのようなところと連携してやっていくのかを追記すると良い。</u></p>	<p>区の主体となる部署や関係する機関・部署を明確にし、内部管理する。</p>	<p>—</p>
11	<p>【各主体の役割】 <u>「5.3 各主体の役割」は時系列の理解としてわかりやすいが、将来的には絵で描けるとよりわかりやすくなり、理解にもつながる。</u></p>	<p>各主体の役割を示す絵を今後検討する。</p>	<p>—</p>
12	<p>【各主体の役割】 <u>「5.3 各主体の役割」について、「気候変動影響を理解する」のところで情報収集や学習があるが、「防止・軽減する」ところでも情報の発信と収集はかなり重要である。影響を理解することとは別に、実際に今どのような環境にあるのかということや暑さであればクールスポットがどこにあるかという情報を発信し、区民が収集することが防止や軽減の非常に大きな位置を占める。</u></p>	<p>「気候変動影響を防止・軽減する」段階に情報発信・収集の取組みを追加する。</p>	<p>資料5 P. 42-47</p>
13	<p>【各主体の役割】 <u>「5.3 各主体の役割」(5) 産業・経済活動のところ、事業者の気候変動影響に備える取組みとして事業活動に与える影響予測がある。TCFD等の動きもあるため、影響予測に加えて、その結果の情報発信、説明責任を果たすようなことを企業に心がけてもらえると良い。経営上、非常に重要な影響を及ぼすことがこれから増えてくると思われるため、情報発信の促進などが上手な文言として加えられると良い。</u></p>	<p>事業活動に与える影響予測に加えて、結果の情報発信を記載する。</p>	<p>資料5 P. 46</p>
14	<p>【各主体の役割】 <u>事業者が気候変動影響を防止・軽減する取組みとして原材料調達チャンネルの多様化や販路の多様化が書かれているが、サプライチェーンという言葉もよく使われている。サプライチェーンは原材料の調達だけではなく、製造や在庫管理、物流、販売まですべて含めて消費者の手元に届くまでの流れを意識する場合に使用する表現である。分解して表現した方がわかりやすい面もあると思うが、参考にしてほしい。いずれにしても消費者への影響を最小限にとどめるという視点は重要である。</u></p>	<p>原材料調達チャンネルの多様化・販路の多様化を「サプライチェーンの多様化」に表現を改める。</p>	<p>資料5 P. 46</p>